

鳥類の冬なわばり数

藤田 薫 (日本野鳥の会サンクチュアリ室・横浜自然観察の森) まとめ

調査場所 園内全域

調査日 9月 - 2月

調査開始 1998年 ・ 次年度 継続

調査目的

環境の変化を、鳥類を指標としてモニタリングする。

調査方法

秋～冬になわばりを作るモズ・ジョウビタキ・ルリビタキの確認された位置を地図に記録した。確認は、友の会会員、探鳥会、ラインセンサス、レンジャーからの情報を元にした。

調査結果

園内になわばりを作っていたのは、以下の通りであった。

1. モズ

オス 3羽前後, メス 4羽前後, 性不明 1羽前後

2. ジョウビタキ

オス 2羽, メス 4羽

3. ルリビタキ

オス 5羽, メスorメスタイプのオス 4羽, 性不明 1羽

ルリビタキは昨年 5羽であり, 今年は昨年の倍, 越冬した。

調査名	シジュウカラに食べられた種子調査		
調査者名(所属)	高橋 剛・高橋 睦 (横浜自然観察の森友の会)		
調査場所	観察センター周辺とコナラの道沿いに掛けてある巣箱		
調査日	2002年 2月10日～		
調査開始	2002年	・ 次年度 継続	・ 終了予定
調査目的	シジュウカラが被食型散布する植物を明らかにする。		
調査方法	2月10日 巣箱をねぐらに使っていたシジュウカラのフンをスプーンで採集した。No.1～24 17日 // No.25～38 4月21日 乾燥させたフンをNo.毎に計量した。 28日 フンの水洗い作業を行った。No.1.11.13.17.33.35.36.38 フンを茶こしに入れ流水で洗い、ろ紙でこして種子などを取り出し、乾燥させた。 5月5日 フンの水洗い作業を行った。No.2.3.4.5.6.7.8.9.15.19.21.22.25.26.27.29. 7月5日 フンの水洗い作業を行った。No.10.12.14.16.18.20-1.20-2.23.24.32 乾燥後に、種子の種類の同定作業。		

鳥類のラインセンサス調査	
藤田 薫 (日本野鳥の会サンクチュアリ室) まとめ・中里直幹 (帝京大)	
調査場所	センター→ハイケボタルの湿地→コナラの道→カシの森→ミズキの谷 →モンキチョウの広場→センター
調査日	夏期以外の毎月2回
調査開始	1986年 ・ 次年度 継続
調査目的	環境の変化を、鳥類を指標としてモニタリングする。
調査方法	定量的に、相対的に鳥類数を比較する際の資料を得るために、夏期以外の時期に月2回、約2.3kmのコースで、道の両側50mの範囲に出現する鳥類の種と個体数を記録した。
調査結果	調査は夏期を除いて14回行った。確認されたのは43種であった。月ごとの平均個体数を比較すると、最も多かったのは6月と12月であった (生物リスト参照)。

調査名 ゴミ探偵団パート4

調査者名(所属) ゴミ拾いハイキング参加者(まとめ:松田 久司)
(横浜自然観察の森友の会)

調査場所 タンポポの道とウグイスの道

調査日 2002年 12月 23日

調査開始 2002年 次年度 継続 / (終了) 終了予定 一年

調査目的

活動場所への感謝の気持ちを込めて、園内のゴミを拾い、ゴミの内容を調べた。

調査方法

一般班と子ども班の2班に分かれて、ルート上にどのような種類のゴミが何個落ちていたか、拾いながら集計を行った。

調査結果

拾ったゴミの種類とその個数は表1のとおりである。ビニール袋にまとめられているものがあつたが、なかを開いて内容を確認することはせず、1個として扱っている。

拾ったゴミについては、原則的に参加者で手分けして持帰り、持帰れないものを観察センターのレンジャーに処理を行っていただいた。

表1 拾ったゴミの種類とその個数

	一般	子供	計
アキカン・ビン・ペット等	41	28	69
タバコ	46	35	81
紙クズ	91	43	134
その他【BB弾多い】	119	243	362
その他大物	5	22	27
合計	302	371	673

雑木林ファンクラブ 2002 炭焼き結果			
雑木林ファンクラブ 松田 久司まとめ (横浜自然観察の森友の会)			
調査場所 炭焼き小屋			
調査日 2003 年 1 月 25~26 日と 2 月 15~16 日			
調査開始	2002 年	次年度 継続 終了	終了予定 一年
<p>調査目的</p> <p>環境管理の際に出た木材の活用方法の 1 つとして炭焼きを行っている。2002 年度に炭焼きを行った際の温度変化の計測結果を報告する。</p> <p>調査方法</p> <p>1. 炭窯の構造</p> <p>炭焼きを行った窯は、本窯と呼んでおり、窯の胴は奥行きが 1.4m、一番広い部分の幅が 1.2m あり、平面的には煙突のある奥を鈍端とした卵型をしている。また胴の高さが 0.9m、鉢の高さが 0.3m である。焚き口は間口 0.5m、高さ 0.9m、上部の奥行き 0.35m、下部の奥行きが 0.6m である。</p> <p>2. 温度計測場所</p> <p>窯中央と煙突に温度センサーを挿入して、それぞれの温度変化を測定した。</p> <p>調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2003/1/25-26 実施分 <ul style="list-style-type: none"> 炭材：トウネズミモチ/丸・割材、重量：581Kg 出炭量：84Kg 出炭率：14.5% 温度変化については、図 1 を参照のこと。 ・ 2003/2/15-16 実施分 <ul style="list-style-type: none"> 炭材：トウネズミモチ/丸・割材、重量：514Kg 出炭量：95Kg 出炭率：18.5% 温度変化については、図 2 を参照のこと。 なお、温度を測定していない時間帯があるので、その部分は波線で示している。 			

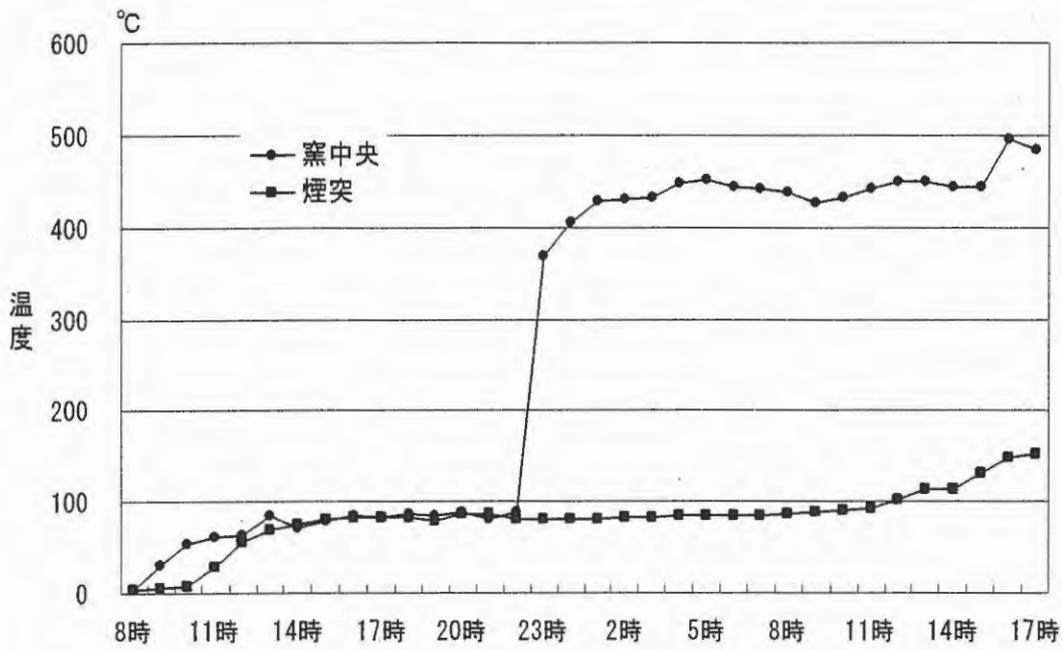


图 1 2003/1/25-26 实施分温度变化

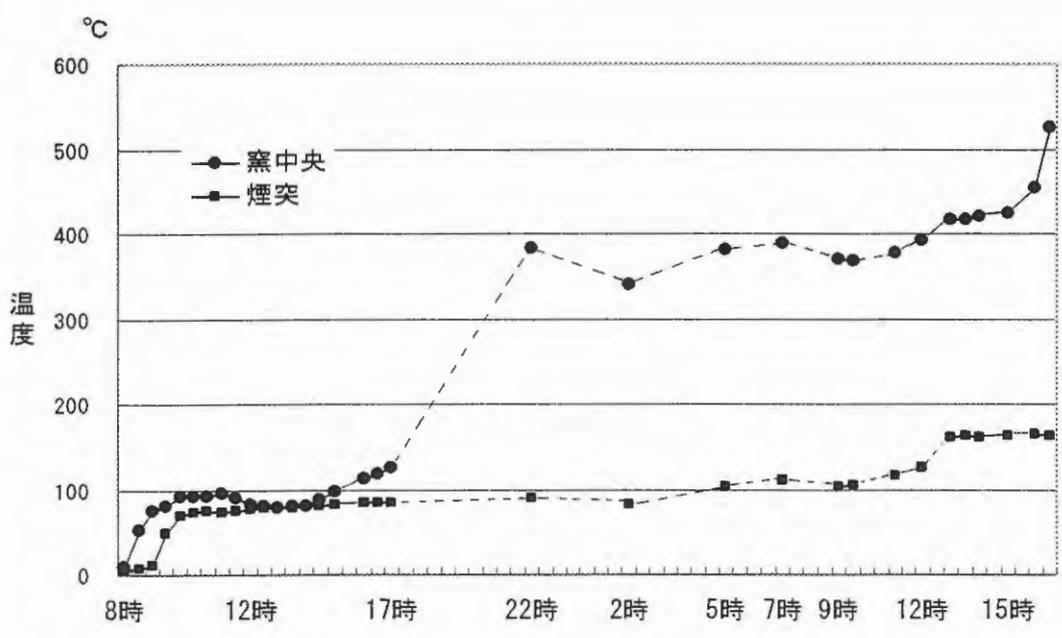


图 2 2003/2/15-16 实施分温度变化

横浜自然観察の森 友の会基礎データ調査 (6)

調査者：尾崎理恵（日本野鳥の会サクチュアリセンター 横浜自然観察の森担当）

調査場所：横浜自然観察の森

調査期間：2002年3月～2003年3月

調査開始：1997年 来年度予定：終了 終了予定：

調査目的：

施設のボランティアグループ「横浜自然観察の森友の会」の会員動向を把握し、施設利用を促進させるための基礎資料とする。

調査内容：

氏名を削除した会員データを友の会より借用し、そのデータをもとに「会員数の経年変化」「年齢分布」「過去三年間の比較」「新規会員年齢分布」「01・02 新規会員内訳比較」の5項目についてデータを分析し、まとめた。

結果：

1) 会員数の経年変化 (図1)

2002年度の会員数は322名となり、昨年度の会員数と変化がなく、横ばいであった。

2) 年齢分布

例年と同じく60代の会員が最も多く続いて50代が多いという結果になった。しかし次に30代の会員と10代の会員が多く、昨年とは異なる結果となった。

3) 過去3年間の年齢分布比較 (図3)

特徴的であったのは60代の会員が昨年同様増加傾向にあることである。100名を超えており、今後もこの年齢層の増加が予想される。一方20代、40代の会員は減少していることがわかる。

4) 新規会員年齢分布 (図4)

全体では61名の会員が新たに加入した。年代では50代の新規会員数が最も多く次いで、10代、60代と続いた。性別では50代、60代男性の加入が多くこれも昨年と同じ結果であった。

5) 2001年度・2002年度新規会員比較

50代、60代が増えているのは変わらないが、10代の新規会員が昨年の倍増えている。

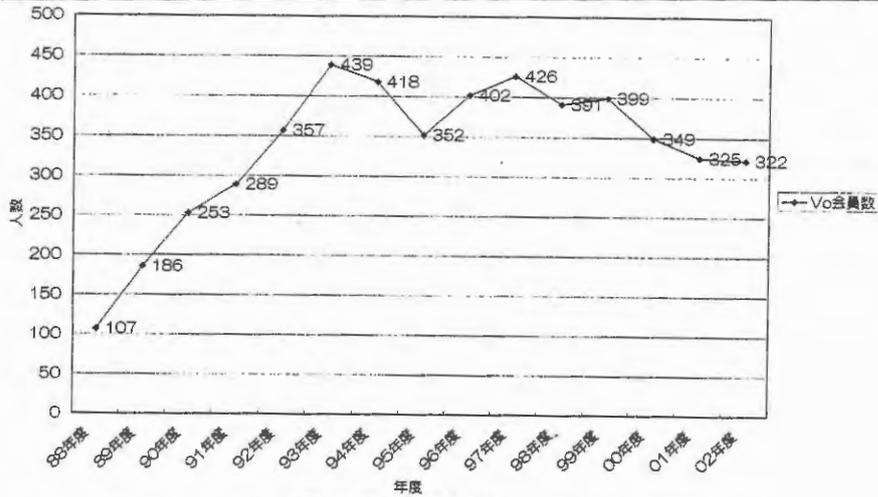


図1 友の会会員数変化

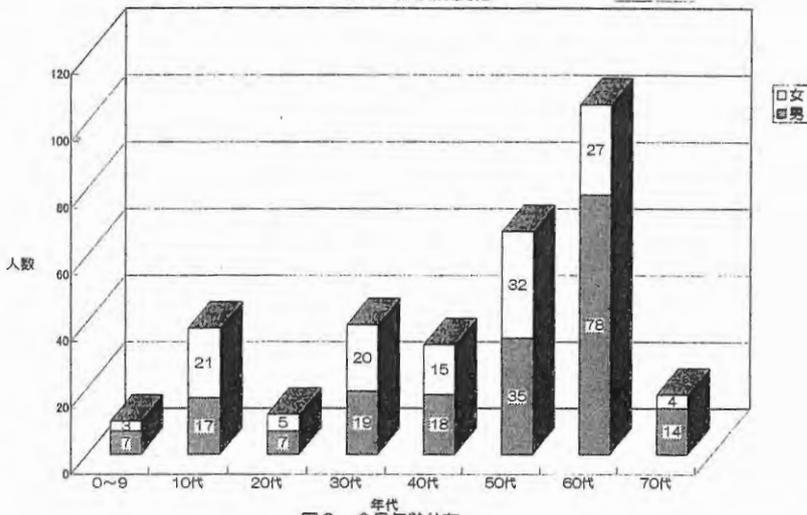


図2 会員年齢分布

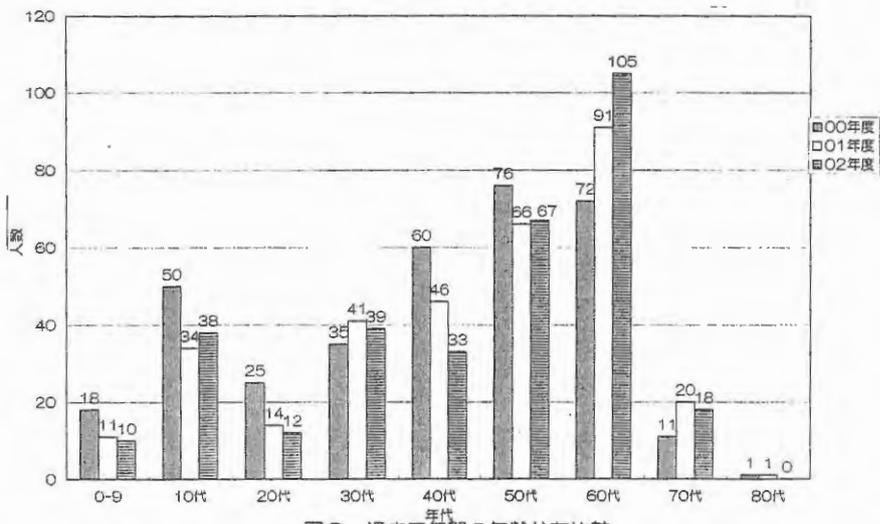


図3 過去三年間の年齢分布比較

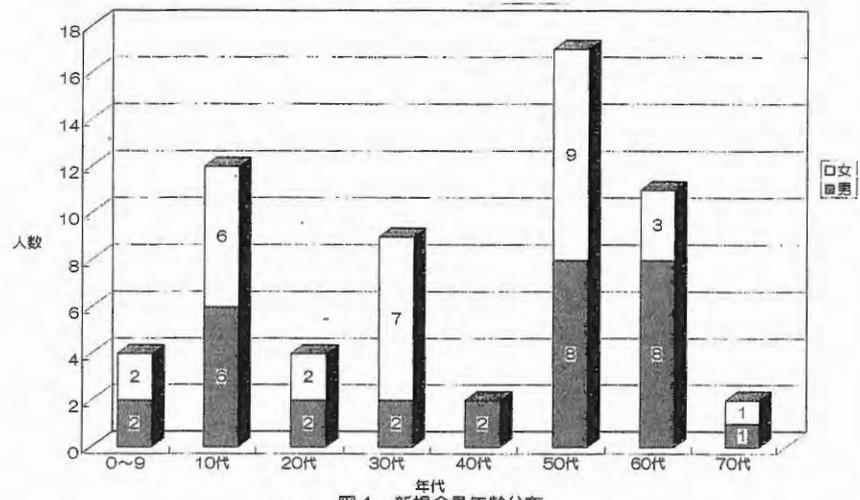


図4 新規会員年齢分布

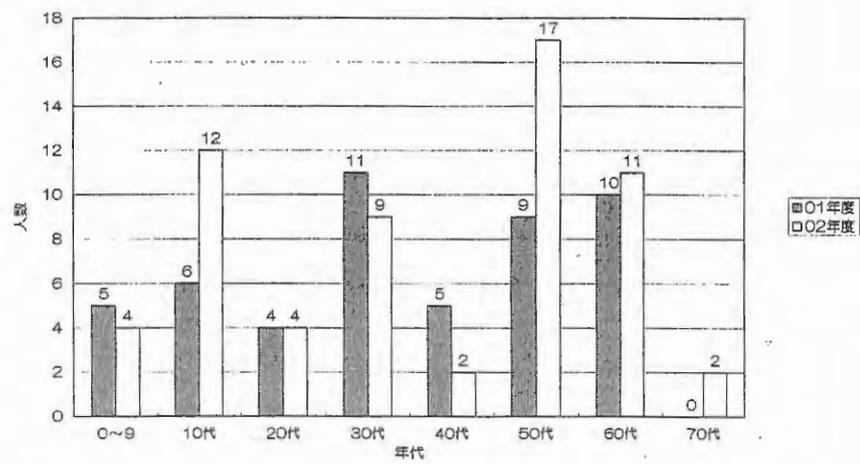


図5 01・02年度新規会員内訳

行事効果測定調査

調査者：岡本裕子（日本野鳥の会サンクチュアリセンター）

調査場所：横浜自然観察の森 自然観察センター

調査期間：2002年4月1日～2003年3月31日

次年度予定：継続

●調査目的：2002～2004年にかけて「いきものにぎわいのある森」の普及効果をはかるための行事効果測定を行なう。

2002年度は主催行事において「にぎわい」を普及するプログラムを企画・実施し、全ての参加者に「にぎわいパンフレット」を配布した。

その中で特に人気の高かった幼児と保護者向けの行事「森のちびっこ探検隊」参加者に占める新規来園者数を調べることで、「にぎわい」の効果的な普及への資料とする。

●調査方法：3才以上の未就学児とその保護者を対象としたイベント「もりのちびっこたんけん隊」シリーズ全8回の各回においてアンケート調査を行なった。

設問：横浜自然観察の森にいらしたことはありますか？

①初めて（ ） ②（ ）回目

※アンケートは世帯ごとにとるものとする。

●調査結果：

表

	アンケート総数	新規来園数	新規開拓率
①	16（世帯）	8（世帯）	50%
②	8	7	87.5%
③	15	12	80%
④	10	7	70%
⑤	14	7	50%
⑥	10	7	70%
⑦	9	5	55%
⑧	12	9	75%
合計	94	62	66%

●考察：全8回中いずれも半数を超える新規来園者の参加があった。最大では9割が新規来園者であった。

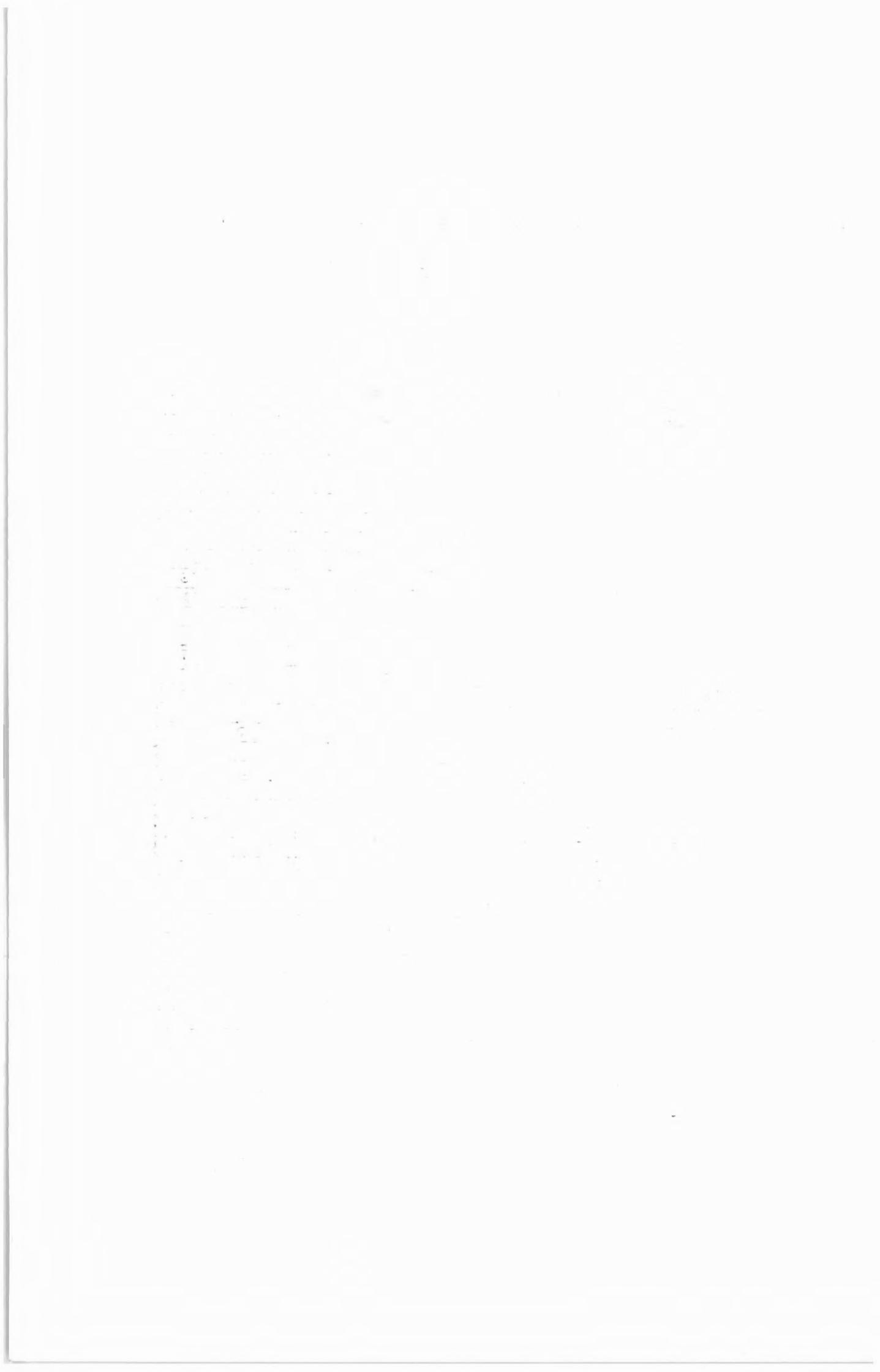
この行事をきっかけに横浜自然観察の森を訪れる方が多いことがわかる。

以上より、「森のちびっこ探検隊」は新規来園者開拓の効果がある行事といえる。

また、当行事参加者に向けて「にぎわい」プログラムの実施とパンフレット配布することは新規来園者への「にぎわい普及」に効果的であると考えられる。

自然情報収集調査	
調査者	来園者，レンジャーなど職員，ボランティア
調査場所	園内全域
調査日	通年
調査開始	1986年 ・ 次年度 継続
調査目的 自然・生物の情報を収集し，自然解説・行事，一般来園者へのサービスとして活用する。また，生物リストを作成する際の資料とする。	
調査方法 来園者，レンジャーなど職員，ボランティアの確認した生物の情報を，収集した。情報は，種別・種名・確認年月日・確認内容・記入者を所定のカードに明記してもらった。これらの情報を月別に，綱別にまとめた。	
調査結果 情報はカードに記入し，このカードは，展示コーナーの自然情報ボードに最新情報として展示した後，閲覧できるようにファイルした。また，情報は入力して蓄積し，2002年度版自然情報集を作成して，閲覧できるようにした。	

生物リスト



鳥類ラインセンサス調査での出現種 (2002年4月-2003年3月)

数値は月ごとの平均個体数.

種名	4月	5月	6月	11月	12月	1月	2月	3月
1 アオゲラ	2.5	1.0	3.0		1.0	0.5	2.0	2.0
2 アオジ	2.5	0.5		5.0	9.0	10.5	12.0	5.3
3 アトリ								0.3
4 アカハラ						1.0	1.0	
5 イカル								0.3
6 ウグイス	11.0	7.5	18.0	2.0	1.0	1.0	1.0	8.0
7 ウソ					8.0	3.0	1.0	
8 エナガ		0.5	0.5		16.0	6.5	4.0	3.3
9 オオルリ	1.0	0.5						
10 カシラダカ						0.5		
11 カルガモ			0.5					
12 カワセミ	1.0	0.5	0.5			1.0		
13 カワラヒワ	0.5			4.0	1.0	1.0	1.0	0.7
14 キジバト	5.0	1.0	3.0	2.0		2.5	5.0	2.0
15 キビタキ		0.5						
16 キセキレイ	0.5							
17 クロジ					1.0	1.0	1.0	0.3
18 コガラ								0.3
19 コゲラ	4.5	2.5	2.0	2.0	6.0	6.0	4.0	5.3
20 コサギ	0.5							
21 コジュケイ	4.5	2.0	2.5	5.0	3.0		1.0	0.7
22 シジウカラ	13.0	12.0	15.0	2.0	15.0	8.5	6.0	9.7
23 シメ	2.0				2.0	4.0	3.0	1.3
24 ジョウビタキ					1.0			
25 シロハラ	0.5			3.0	2.0	3.0	2.0	1.7
26 スズメ	9.5	21.5	21.0	5.0		0.5	1.0	5.3
27 センダイムシクイ		0.5						
28 ツグミ	0.5			9.0	1.0	3.5	1.0	1.0
29 ツバメ			2.0					
30 トビ			1.0		1.0	2.5	1.0	1.7
31 ノスリ	0.5					0.5		
32 ハキセキレイ			0.5					
33 ハシブトガラス	4.0	3.0	4.0	6.0	2.0	5.0	9.0	7.7
34 ハシボソガラス	0.5							
35 ヒヨドリ	29.0	2.5	13.5	37.0	24.0	12.5	8.0	9.7
36 ホオジロ	2.0	0.5	0.5		1.0	0.5		0.3
37 ホトトギス		0.5	1.0					
38 ムクドリ		1.5	3.0	20.0	7.0			
39 メジロ	16.5	14.0	32.5	10.0	22.0	6.5	6.0	17.3
40 モズ				1.0		0.5	1.0	1.0
41 ヤブサメ	1.0	1.0	1.0					
42 ヤマガラ	3.0	0.5	0.5				1.0	3.3
43 ルリビタキ					1.0			
小計	115.5	74.0	125.5	113.0	125.0	82.0	72.0	88.7
アオゲラ?			0.5					
カラスsp.			0.5					
タカsp.					1.0	0.5		
合計	115.5	74.0	126.5	113.0	126.0	82.5	72.0	88.7

月別園内鳥類出現率 (2002年4月~2003年3月)

No	科名	種名	出現率 (%)											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	ウ	カワウ								3.8				
2	サギ	ゴイサギ			3.8						4.3			
3	サギ	コサギ	4.3	3.6					3.7	3.8	4.3		4.2	
4	サギ	アオサギ	8.7	10.7				4.0			4.3	4.2	3.6	
5	ガンカモ	オシドリ						20.0	14.8	11.5				
6	ガンカモ	カルガモ	4.3	10.7	26.9								3.6	
7	ガンカモ	コガモ											3.6	
8	ガンカモ	ヒドリガモ								3.8				
9	ワシタカ	トビ	73.9	85.7	65.4	80.0	88.5	92.0	88.9	88.5	73.9	91.7	95.8	82.1
10	ワシタカ	オオタカ	4.3			4.0		16.0	18.5	11.5		8.3		
11	ワシタカ	ハイタカ								7.7				
12	ワシタカ	ノスリ	4.3							15.4	21.7	41.7	33.3	25.0
13	ワシタカ	サシバ						4.0						
14	ハヤブサ	チゴハヤブサ						4.0						
15	ハヤブサ	チョウゲンボウ	4.3	7.1	3.8					7.7		8.3		
16	キジ	コジュケイ	87.0	92.9	76.9	84.0	84.6	76.0	66.7	53.8	47.8	70.8	62.5	71.4
17	キジ	キジ	69.6	92.9	73.1	48.0	26.9	24.0	22.2	11.5	26.1	25.0	41.7	67.9
18	クイナ	バン							3.7					
19	シギ	クサシギ							3.7					
20	ハト	キジバト	87.0	100.0	92.3	88.0	96.2	92.0	96.3	76.9	69.6	100.0	95.8	92.9
21	ハト	アオバト							3.7		4.3	4.2		
22	ホトトギス	ツツドリ		7.1										
23	ホトトギス	ホトトギス		39.3	84.6	60.0	7.7	4.0						
24	フクロウ	フクロウ	4.3	10.7				4.0					4.2	3.6
25	アマツバメ	ヒメアマツバメ	8.7	17.9	11.5	20.0	11.5	20.0		3.8		4.2		
26	アマツバメ	アマツバメ		3.6				8.0						
27	カワセミ	カワセミ	8.7	21.4	34.6	40.0	26.9	16.0	37.0	30.8	13.0	41.7	25.0	14.3
28	キツツキ	アオゲラ	87.0	89.3	73.1	60.0	65.4	28.0	51.9	11.5	39.1	70.8	91.7	82.1
29	キツツキ	コゲラ	43.5	89.3	73.1	68.0	15.4	40.0	66.7	76.9	39.1	83.3	91.7	85.7
30	ツバメ	ツバメ	43.5	82.1	57.7	64.0	61.5	52.0						7.1
31	ツバメ	コシアカツバメ								3.8				
32	ツバメ	イワツバメ	4.3	14.3	23.1	8.0	19.2	12.0						
33	セキレイ	キセキレイ	13.0	25.0	3.8				14.8	11.5	8.7	4.2		14.3
34	セキレイ	ハクセキレイ	8.7				11.5		7.4	23.1	26.1	33.3	58.3	17.9
35	ヒヨドリ	ヒヨドリ	60.9	96.4	76.9	68.0	53.8	32.0	92.6	88.5	73.9	100.0	95.8	85.7
36	モズ	モズ	4.3			4.0	15.4	40.0	96.3	92.3	60.9	66.7	83.3	75.0
37	レンジャク	ヒレンジャク	4.3	14.3										
38	ミソサザイ	ミソサザイ									4.3			3.6
39	ヒタキ	ルリビタキ									17.4		16.7	7.1
40	ヒタキ	ジョウビタキ							11.1	57.7	30.4	20.8	16.7	7.1
41	ヒタキ	ノビタキ							3.7					
42	ヒタキ	トラツグミ									13.0	20.8		
43	ヒタキ	アカハラ	4.3	3.6							13.0	25.0	16.7	7.1
44	ヒタキ	シロハラ	4.3							11.5	30.4	75.0	91.7	75.0
45	ヒタキ	ツグミ	30.4							11.5	26.1	58.3	100.0	82.1
46	ヒタキ	ヤブサメ	8.7	21.4	26.9	4.0								
47	ヒタキ	ウグイス	100.0	100.0	100.0	100.0	53.8	24.0	85.2	88.5	60.9	79.2	83.3	89.3

No	科名	種名	出現率 (%)											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
48	ヒタキ	オオヨシキリ				4.0								
49	ヒタキ	センダイムシクイ	4.3	14.3		4.0								
50	ヒタキ	キクイタダキ		3.6							4.3			
51	ヒタキ	キビタキ		10.7				4.0	11.1					
52	ヒタキ	オオルリ	39.1	28.6	7.7				3.7					
53	ヒタキ	コサメビタキ							7.4					
54	ヒタキ	サンコウチョウ		10.7	3.8									
55	エナガ	エナガ	13.0	32.1	19.2	12.0		32.0	37.0	65.4	52.2	62.5	66.7	64.3
56	シジュウカラ	コガラ						4.0	3.7			8.3	4.2	3.6
57	シジュウカラ	ヤマガラ	52.2	75.0	76.9	76.0	15.4	28.0	33.3	42.3	34.8	20.8	70.8	82.1
58	シジュウカラ	シジュウカラ	95.7	96.4	84.6	100.0	76.9	84.0	92.6	88.5	73.9	95.8	95.8	92.9
59	メジロ	メジロ	78.3	89.3	76.9	80.0	46.2	56.0	63.0	84.6	60.9	95.8	87.5	92.9
60	ホオジロ	ホオジロ	43.5	57.1	38.5	64.0	38.5	4.0	33.3	65.4	47.8	70.8	91.7	85.7
61	ホオジロ	カシラダカ								7.7	4.3	16.7		
62	ホオジロ	アオジ	21.7	14.3					7.4	57.7	52.2	91.7	95.8	96.4
63	ホオジロ	クロジ								3.8	13.0	12.5	12.5	10.7
64	アトリ	アトリ								3.8	8.7			3.6
65	アトリ	カワラヒワ	8.7	25.0	46.2	4.0			3.7	19.2	21.7	45.8	29.2	21.4
66	アトリ	マヒワ	8.7								4.3		4.2	7.1
67	アトリ	ベニマシコ									4.3		12.5	
68	アトリ	ウソ								11.5	26.1	58.3	58.3	17.9
69	アトリ	イカル								7.7	8.7			3.6
70	アトリ	シメ	30.4	7.1					7.4	11.5	13.0	41.7	54.2	39.3
71	ハタオリドリ	スズメ	95.7	100.0	100.0	96.0	96.2	92.0	100.0	96.2	65.2	100.0	100.0	96.4
72	ムクドリ	コムクドリ						4.0						
73	ムクドリ	ムクドリ	26.1	89.3	65.4	8.0		8.0	29.6	7.7	8.7	12.5		21.4
74	カラス	カケス						4.0						
75	カラス	オナガ		10.7			3.8	4.0						
76	カラス	ハシボソガラス	17.4	14.3	15.4	16.0	15.4	28.0	7.4	26.9	8.7	8.3	4.2	21.4
77	カラス	ハシブトガラス	91.3	92.9	73.1	92.0	92.3	100.0	96.3	92.3	69.6	91.7	95.8	96.4
78	*ハト	ドバト	8.7	3.6	3.8	4.0								
	ワシタカ	タカsp.										4.2		14.3
	ハヤブサ	ハヤブサsp.								7.7				
	ホトトギス	ホトトギスsp.							3.7					
	ヒタキ	ツグミsp.								3.8				
	ヒタキ	大型ツグミsp.									13.0			

花暦 ・ 2002年

伊澤嘉與子・金井洋子・高原弘子・畑史子・八田文子・林由紀子・松田久司
 松田博明・丸田桂子・山路智恵子・横溝八千代・篠原由紀子 (まとめ)
 (横浜自然観察の森友の会 野草プロジェクト)

〈定例調査のコース〉

毎月第一金曜日：観察センター→モンキチョウの広場→コナラの林→尾根→カシの森→尾根
 →コナラ 21→観察センター

毎月第一土曜日：観察センター→ミズキの道 1 →ミズキの道 終→観察センター

〈凡例〉

つぼみ : △
 花 : ★
 未熟な実 : ○
 熟した実 : ●
 むかご : む

△	△★	△ ○	★○●	△26
★	△★○	△ ●	△/★12	★22
○	△★○●	△ ○●	△16★22	△★20
●	○●	★○	△★16○22	△★○20

・ /の後は定例調査の日以外の記録

例 1. 一定例調査の日には蕾だったが 12 日には開花を記録した : △/★12

例 2. 一定例調査の日には記録されなかったが、26 日にはつぼみを記録した : △26

・ 園内で観察できる場所が限られている植物は、種名の右()内に場所を記した

ア：アキアカの丘, オ：尾根道, カ：カシの森, ク：クヌギの林, ケ：ケンゾウの谷, コ：コナラの谷
 ス：炭焼き場, セ：生態園, ノ：ノギクの広場, ハ：畑, ヒ：ヒケツク広場, ミ：水鳥の池

・ 種名の網掛けは生態園で観察できた種

種名	科名	4月5.6日	5月3.4日	6月1.7日	7月5.6日	8月2.3日	9月6.7日	10月4.5日	11月1.4日	12月6.7日	1月10.11日	2月1.7日	3月1.7日	熟した葉の色
アオカモジグサ	イネ	△★	△★25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△★20	赤
アオキ	ミズキ	△★	○	○	○	○	△★	△★	○	○	○	△	△★20	赤
アオジノ(ハ)権載	シソ	△/★9	○	△	△16★25	△★/○22	△★10	△★	△★○	●				青
アオツツラフジ	ツツラフジ													青
アオミス	イラクサ								△★○					青
アカシテ 権載	カバノキ	○20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	黒
アカシヨウマ	ユキノシタ		△18★31	△★	○	○	△/★21	△★○	○	○	○	○	○	黒
アカネ	アカネ	△★												黒
アカネスミレ(カ)	スミレ	△★												黒
アカハナ	アカハナ													薄茶
アカマツ 権載	マツ	○20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	薄茶
アカメダシウ	アカメダシウ		△31	△★	△/★30	△★	△★○	△★○	○	○	○	○	○	黒茶
アキカラムツ	アキカラムツ	△★	○31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	黒茶
アキグミ 権載も	クミ													赤茶
アキニレ 権載	ニレ													赤茶
アキノウナキツカミ(ハ)	ウナ													茶
アキノキノノウ(ハ)	キノ													茶
アキノタムラソウ	シソ			△20	△★	★○	△★○	★○	○	○	○	○	○	茶
アキノバシ	クク	△★												茶
アケビ	アケビ													黒茶
アサザ 権載	ミツガシウ	△★		△★	★	○11							△19	黒茶
アジサイ権載	ユキノシタ		△18	△/★15	△★		○							黒茶
アシボソ	イネ						△29							赤
アズマイバラ	バラ	△	△★12	★○	○	○	○	○/●19	○	○	○	○	○	赤
アズマギサ	タケ	△★	○											茶
アゼガヤツリ	カヤツリガサ													茶
アゼナ(フ)	アゼナ(フ)	★												茶
アマチヤン	クスノキ													茶
アマチヤツル	ウリ													茶
アマカアゼナ(フ)	ゴマノハグサ													茶
アメリカイヌオズキ	ナス													茶
アメリカセンダングサ	クク													茶
アメリカカサブロウ	クク													茶
アラカン	フナ													薄茶
アレチギンギン	タデ		△★30											薄茶
アレチヌスビトハギ	マメ													薄茶
アワブキ	アワブキ	○												薄茶
アンス 権載(ハ)	イグサ		△★/○25	★○	●	●	★○17	○	○	○	○	△21	△/★23	緑(種橘)
イ	ナス		△★○18	△★	△★	★○17	★○	○	○	○	○			緑(種橘)
イガホオズキ	マメ													緑(種橘)
イタチハギ 国外権載	イタチハギ													緑(種橘)
イタドリ	タデ													緑(種橘)
イチゴ栽培種(ハ)	バラ													緑(種橘)
イチゴツナギ	イネ	△★16	△★	★○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	茶
イチヤクソウ(ハ)	イチヤクソウ	△	△/★28	★○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	茶
イチリンソウ 権載(ク)	キンポウゲ	△★												茶
イヌガラシ	アブラナ	△9★16	△★	△★○	△★	△★○22	△★	△★○	○	○	○	○	○	黒
イヌコウジュ	シソ													黒
イヌコリヤナギ 権載	ヤナギ	★○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	赤黒茶
イヌザクラ	バラ	△/★13										△21		赤黒茶
イヌザンショウ	ミカン		△★	○	○	○	○/●22	○	○	○	○			赤黒茶
イヌシテ	カバノキ		○	○	○	○	○	○	○	○	○		△28	赤黒茶

種名	4月5,6日	5月3,4日	6月1,7日	7月5,6日	8月2,3日	9月6,7日	10月4,5日	11月1,4日	12月6,7日	1月10,11日	2月1,7日	3月1,7日	熟した葉の色
カンガレイ 種裁			△★	★○	○	○●							
カントウカンアオイ		○					△			★			
カントウタンポポ	△★	△★○●											
カントウマムシグサ	△	○			○17	○	○	●16	●			△★28	褐赤
キジムシロ(カ)	△★						△★19						
キダチコンキク				△30	△	△	△20★30		○	○	○	●21	黒
キッコウハグマ													
ウコギ					△★09								
キツネノカミソリ 種裁(カ)			△★○	★○	○								
キツネノボタン(オ)					△★18	△★	△★○●20	○●					
キツネノマゴ			△/★14	△★○	△★	△★○	○	○●					
キハギ					△/★17	△★	○	○●					
キハガク(ヒソカ)					△/★17	△★	○	○●					
キブシ	★○	○	○	○●	○●	○●	△○●	△○●	△	△		△/★11	褐赤
キボウシ 園芸種(ス)				△★									
キユウリグサ	△★	★○●	△★○	★	★○●								
キヨウギシハ		△★30											
キラソウ	△★	△★	△★20		△★○	△★		○●				△19★29	青紫
キレハソウドウ						△★	○●	○●					
キンエノコロ						○25	○	○					
キンカン 種裁(ハ)													
キンシバイ 園外			△★		△★○	△★○	△★○●	○●					
キンミズヒキ				△★16	△★○	△★○●	△★○●	○●					
キンモクセイ 種裁						△21★29	★						
ギンラン	△24★27	★	○	○		○							
クサイ		△/★31	△★○	○●	○●	○●							
クサイチヨ	△★○	★○●										△★26	褐 紺
クサギ	△★○			△20	△★○	△★○	○●	○●					
クサボタン						△22★28	△★	○					
クサヨシ		★18	△/★22	△★	★○	○	○●	○●					
クサレダマ 種裁(ハ)				△★16	△★	△★○	○	○					
クズ		△★											
クスノキ 種裁													
クスギ 種裁も	△★												
クマノミズキ													
クマヤナギ		△	△★	○	○	○●							
クワ		○●	△	△★	○●	○●							
クワヤナギ		△★21	△★	○	○●	○●							
クリ 種裁も		△★31	△★	○	○●	○							
クロガネモチ 種裁(セ)		△/★30	△★	○	○	○						△○	赤
クロマツ 種裁も	△	○	○	○	○	○						△/★26	赤
クロモジ	△★	○	○	○			△	△	△	△			
クワクサ						△★21	△★○●						
クワイタバコ		△18	△★										
ケイツネノボタン	△★	△★○	○●										
ケスダ	○				△★31	△★	△★○/●30	○●				△11★28	緑
ケチ子ミザサ													
ケチンチガヤ	△★	○	●										
ケマルバスミレ(ケ)													
ケムラサキニガナ			△/★20	★○	★○●							△★28	薄茶
ケヤキ 種裁も	△★	○											
ケヤマハンノキ 種裁(セ)	○	○	△★14	△★	△★	○	△★○●	★○●	△	△	△★20	△★	黒
ケンシヨウコ		△★18	△★	△★	△★	△★○●	●29						
ケンボナン													
クワウメモドキ													

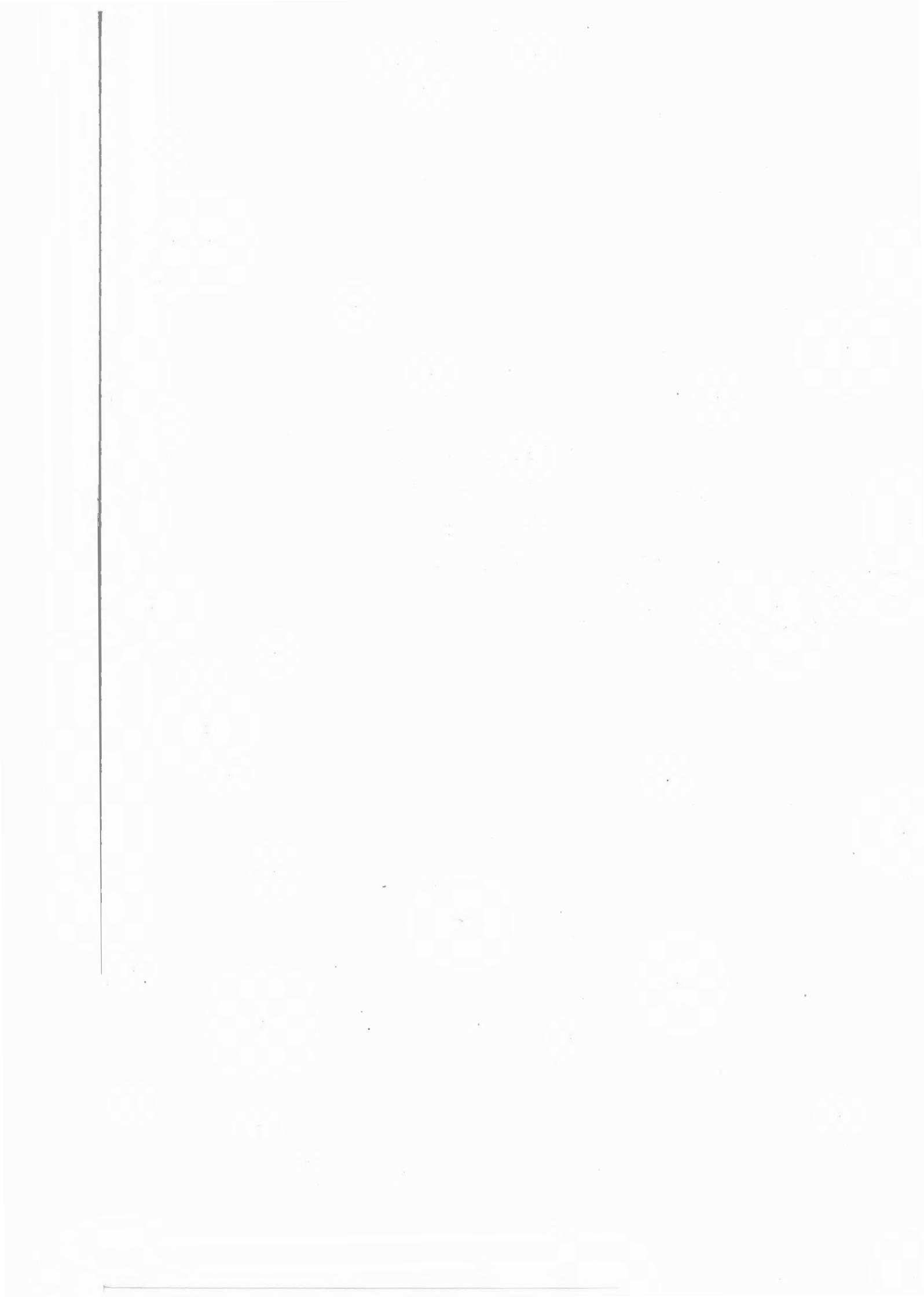
種名	科名	4月5,6日	5月3,4日	6月1,7日	7月5,6日	8月2,3日	9月6,7日	10月4,5日	11月1,4日	12月6,7日	1月10,11日	2月1,7日	3月1,7日	熟した葉の色
コアカソ	イラクサ					△/★11	○	○	○					
コウガイゼキショウ	イグサ	△★30	★	△★○										
コウソリナ	イネ	△/★13	△★○	△★○										
コウホネ	スイレン		★											
コウヤボウキ	キク								△★	○	●	●		薄茶
コガマ 植栽も	ガマ				★31	★○								
コクサギ	ミカン			○	○30	○	○	○	○	○				薄茶
ココメウツギ	ハラ	△★	△★	○			○	○						薄茶
コメガヤツリ	カヤツリグサ	△/★20	△★	○		△31	△★	○						薄茶
コシオガマ(ハ)	コマノハグサ					△31	△★29	△★	★○					薄茶
コスミレ	スマレ	○											△★19	
コセンダングサ	キク			△★○				△★○	△★○	△★○	●	●		茶
コチチミザサ	イネ		△★	△★○			△★	△★○	○					
コナラ	サクラソウ	△★	△★	△★○			○							
コナラ 植栽も	ブナ				△★		○							
コニシキソウ	トウダイグサ			△★			★○							
コハコベ	ナデシコ	△★○	△★○	△★○	△★○						△★○	△★○	○	朱赤
コハノガズミ	スイカズラ	△★	○	○20			○/●21	●	★				○	
コハノタツミ	シソ	△★	○	○	●	○	○	○	○	○				
コハンソウ	イネ			○										
コヒルガオ	ヒルガオ		★15	△★	△★25	△★			△	△	△		△/★23	
コブシ 植栽も	モクレン			○			○	△★/○19						
コブナグサ	イネ						△22★28	△★○						
コマツナギ	マメ				△★2	△★○								
コマツイグサ	アカハシ		△★31		△★									
コマユミ 植栽	ニシキギ	△★24	★	○			○							
コマツブツメクサ	マメ	△★○30	△★○	△★○										
コマナモミ	キク						△★/○19	●						
コモ手マンゲツグサ	ペンケイソウ		△★31	★○										
コヨウアケビ	アケビ	△★13												
コンズイ	ミツバウツギ	△24	△	○	○	○	○	○						
サイハイラン	ラン		△/★14	○										
ササガヤ	イネ													
サザンカ 植栽	ツバキ							△★/○19	○					
サジガクペンソウ	キク	○	○	○	○	○	○/△22	△○/★20	△★	△★○	△★○	△★○	★○	褐色
サツキ 植栽	ツツジ			△11	△	△★	○							
サトザクラ) 植栽	バラ	△★		△★										
サネカスラ	マツブサ						△★○							
サラシナシヨウマ	キンポウゲ						△	△						
サルトリイバラ	ユリ	★	○	○	○	○				●				赤
サルナシ	マダダビ		△★											
サワラ	ヒノキ											●		
サンカクイ 植栽	カヤツリグサ			△★20			△★○							
サンゴジュ 植栽(ハ)	スイカズラ	△13	△	△★8	○		●	●						赤赤黒
サンシヨウ(カシノ森)ニ	ミカン	△★	○	○										
シオ子	ユリ				△★	○		○20						
シナダレスズメグサ	イネ	△★30	△★	△★25										
シハ	イネ			○										
シハヤナギ	ヤナギ				△★2	△★○								
シマススメリエ	イネ			○									△23	
シヤガ 植栽	アヤメ	△★	★○	○				★○						
シヤケツイバラ	マメ	△★30	△★	○	○	○	●							
シヤノヒゲ	ユリ				△★	△★		○	○	○	○	○	○	赤紫青

種名	科名	4月56日	5月34日	6月17日	7月56日	8月23日	9月67日	10月45日	11月14日	12月67日	1月10.11日	2月17日	3月1.7日	熟した実の色
ジャランハイ 植栽	バラ	△★	△★	○	○	○	○	○	●	●				黒
シュウブソウ	キク	△20★29		○	○	○	△★10	★○	●	●				緑
ジュズダ	カヤツリグサ		△★	○			○							
シュロ	ラン													
シラカシ 植栽も	フナ		△★	○	○	○	○	○	○	○		△28	△★11	
シラキ 植栽も?	トウダイグサ	△24	△/★21	★○	○	○	○							
シラゲガヤ	イネ			△/★14										
シラヤマギク	カヤツリグサ	△★13					△★10		○					
シラン	ラン	△9★13	△★	★○	○	○	●	○20	●	●				茶褐
シロタモ	アガサ													
シロツメクサ	クスノキ		○	○	○	△	△○/●22	△	△★○	●	○	○		赤茶
シロバナタンポポ 植栽も	マメ	△★24	△★	△★○	△★	△★○								
シロバナハンショウツル	キンポウゲ	△★												
シロメナ	キク					△★	△	△★	△★	○	●			薄茶
シンツボウユリ	ユリ					△★18								黒
スイカズラ	スイカズラ		△★7	△★		○	○	○/●19	○	○				赤
スイセン 植栽	ヒガンバナ													緑でも完熟
スイバ	タデ	△/★9	★○	○	○	○	○	○	○	○	△	△/★28	△★	薄茶
ススキ 植栽	スギ	○	○	○	○	○	△★8	△★○	○	○				薄茶
スズメウリ	ウリ					△★18	△★○	○/●20	○	○			△★○	白
スズメノカタビラ	イネ		△★○25	○	△★○									
スズメノヤビキ	イネ		△★24											
スズメノテッポウ(?)	イネ		△★12	△★										
スズメヒエ	イネ						△★							
スズメヤリ	イワサ	★○	○	●										
スダジイ 植栽も	フナ	△13★29	△★	★○	○	○	○	○	●	●			△19★21	褐
スハムソウ	キンポウゲ													
セイタカアワダチソウ	キク						△21	△★	△★○	★○	●	△★7○28	★○11	茶
セイヨウモロコシ	イネ			★	△★25			★	○					
セイヨウタンポポ	キク	★○	○	○	★○									
セキショウ 植栽	サトイモ	△★	○	○	△★									茶
セリ	セリ						△★							
セニンソウ	キンポウゲ					△★	△★○	○	●	●				
ソメイシノ 植栽も	バラ	★	○	○		△★22	△★						△21★28	茶赤
ソヨビ 植栽園外	モチノキ			○16										
タイアサミ	キク			△★17	△★○	★○	△★	△★	△★○	○	●			茶
タイコソウ	バラ			△15	△★	△★18	△★○		★○	○				茶
タイニダサ	ケン						△★○							
タイノアシ 植栽	ユキノシタ		△★○	○										
タイノアヲワダリ	ヨモギ	△★○	○	○	○	○	○							茶
タイツボスミレ	スミレ	△★	○	○		○	○		△★○	○	●			茶
タニウツギ 植栽	スイカズラ	△★25	△★				△★	△★	△★○	○			△★19	茶
タネツケバナ	アブラナ	△★○	★○				★○	△★	★○	○				茶
タノノキ 植栽も	クスノキ	△★	△★	○										茶
タマアジサイ	ユキノシタ				△/★20	△★	△★○	★○	○	○				茶
タマガヤツリ	カヤツリグサ					△★22	△★	★○	○	○				茶
チカラシバ	イネ							★○	○	○				黒茶
チドリクサ	セリ		△★○	△★				★○	○	○				薄茶

種名	科名	4月5.6日	5月3.4日	6月1.7日	7月5.6日	8月2.3日	9月6.7日	10月4.5日	11月1.4日	12月6.7日	1月10.11日	2月1.7日	3月1.7日	熟した葉の色
ニワトコ	スイカズラ	△★○	○/●25	○●										赤・黄
スカキ	イネ								○●					茶
ヌスビトハギ	マメ					△★		○	○					茶
ヌルナ	ウルシ			△★14	△	△	△★	○						茶
ホシバナ	ラン			△★14	△★○	△★18		○●	●					茶
ホスミノ	イネ													茶
ホスミムギ	イネ		△★28	★	★									茶
ホスミモチ 植栽も	モクセイ	△13	△★28	△★	○	○	○	○	○●	●				茶
ホムノキ	マメ		△25	△/★22	△★	○	○	○	○●	●				茶
ノイバラ	バラ	△/★30	△★	○	○	○	○	○/●20	○	○				茶
ノガリヤス	イネ						△★22	△★						茶
ノカンゾウ	ユリ			△★2										茶
ノゲシ	ユリ		△ 07	★○●										茶
ノコンギク	キク						△/★21	△★	△★○●	●				紫
ノササゲ	キク						△★22			●				褐
ノトラノオ	サクランボ			△/★20				○	○	○				白、青、紫
ノタケ	セリ						△★10	△★○	○	○				褐色
ノビル	ユリ		●28	△★11										薄茶
ノブドウ	ブドウ		△31	△/★20	△★○	△★○	△★○●	△★○●	○●					赤
ノミノツリ	ナデシコ		△★	△★○●										薄茶
ノリウツギ 植栽	ユキノシタ		△28	△/★21	△★○	○	○●	●						赤
ハイドハギ	マメ						△★21							薄茶
ハキタムギ	キク			△★	△★○●	★	★○	△★○	△★	△★				薄茶
ハコネツギ	スライカズラ		△★	△★○	○	○	○	○	○●	○●				薄茶
ハコベオスギ(他)	ナス		△★	△★○			△★○	△★○	★○	★				薄茶
ハダカホオスギ	ナス					△★31	△★○	○	●16					薄茶
ハツカ(7)	シソ						△★21	△★○/●19						薄茶
ハナイカダ	ミズキ			○	●									薄茶
ハナイハナ	ムラサキ													薄茶
ハナウド(9)	セリ	△★○												薄茶
ハナノツクハネウツギ	スイカズラ		△★	○										薄茶
ハナタデ	タデ			△★21	△★○	△★○	△★○●	△★○●	★○●	○●				薄茶
ハナミズキ 植栽	ツバキ	△★	○	○	○	○	○	△○/●10	△★○	○●	●		○	薄茶
ハマヒサカキ 植栽	ツバキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○				薄茶
ハマヤマオオ?	イラクサ				△★20		●							薄茶
ハリエンジュ 植栽	マメ	△13★23	★											薄茶
ハリギリ	ウコギ													薄茶
ハルジオン	クク		△★	△★○●					○●	○●	●			薄茶
ハンショウヅル	キンポウゲ	△/★24	○14	○	○	○	○	○						薄茶
ハンノキ 植栽	加ハノキ			○				○			△	○	●	薄茶
ヒエガエリ	イネ		△★	△★○	△★○	△★	△★○	△★○	○/●16	○				薄茶
ヒカゲイノコス子	ヒユ				△25									薄茶
ヒガンバナ 植栽も	ヒガンバナ		★○	○	●									薄茶
ヒヨクサ	カヤツリグサ	△★16	○	○							△		△/★21	薄茶
ヒサカキ	ツバキ		○	○										薄茶
ヒナタイノコス子	ヒユ	★	○	○		△★17	△★	△★○	○/●16	○				薄茶
ヒノキ 植栽	ヒノキ		○	○		○/●17								薄茶
ヒメウス	キンポウゲ	△★○	★○●	○										薄茶
ヒメドリヨソウ	シソ	△★○●	★○									△★7	△★11	薄茶
ヒメガマ 植栽	ガマ				○20							△★2	△★○	薄茶
ヒメカンスゲ	カヤツリグサ	○	●											薄茶
ヒメクク	カヤツリグサ	△/★9	★	○●	△★○●	○	○●						△★11	薄茶
ヒメヨソ	クワ			○●	○●									薄茶

種名	科名	4月5.6日	5月3.4日	6月1.7日	7月5.6日	8月2.3日	9月6.7日	10月4.5日	11月1.4日	12月6.7日	1月10.11日	2月1.7日	3月1.7日	熟した実の色
ヒメコバンソウ	イネ	△★	△	△★	△★	△★	△★	△★	△★					薄茶
ヒメツヨク	キク	△★	△18	△★	△★	△★	△★	△★	△★					薄茶
ヒメコ	ヤマノイモ				△★2	★								薄茶
ヒメカシヨモギ	キク				△★25	△★22	△★	△★	△★					薄茶
ヒメヤブラン(ウ)	イネ			△★14			△★							薄茶
ヒメヤブラン(タ)	アカネ		△	△★15										薄茶
ヒメウヤナギ	オトギリソウ			△★21										薄茶
ヒメトリヨウゴ	ナス													薄茶
ヒヨドリバナ	キク			△	△★2	△★	△★	△★	△★	●				薄茶
ヒロハボウキギク(ア)	キク						△★8	△★	●					薄茶
ヒロハ	バラ		○											薄茶
フキ	キク	○												薄茶
フクジュソウ 植栽(セ)	キンポウゲ	○										△★7		薄茶
フジ 植栽も	マメ	△★	★	○			○							薄茶
フシギチカヤ	イネ	△★	△★	★	●									薄茶
フタクサ	キク					△/★8	○							薄茶
フタナ	キク		△★	△★	△★	△★	△★	★						薄茶
フクリソウ	センリョウ		△	○										薄茶
フツキソウ	ツゲ	★	○											薄茶
フツリソウ(セ)	リンドウ		○											薄茶
フリイ 植栽	カヤツリグサ	△/★30	△★	△★	★	○	○	○						薄茶
フリヤナギ 植栽	ヤナギ													薄茶
ヘクソカズラ	アカネ			△★	△★	△★	△★	○						薄茶
ベニガクアジサイ 植栽	ユキノシタ		△24	△★15										薄茶
ベニバナポロギク	キク						△★	●20	△★					薄茶
ヘビイチゴ	バラ	△★	△★	★										薄茶
ヘラオオハコ	オオハコ	△★20	△★	△★	△★	△★	△★	△★						薄茶
ヘラオモタカ 植栽	オモタカ													薄茶
ヘラハヒメジョオン	キク			△★	△★	△★	△★	○						薄茶
ホウチヤクソウ	ユリ	△★	○	○	○	○	○	○						薄茶
ホソバアキノリゲシ	キク						△★21							薄茶
ホソムキ	イネ				△★									薄茶
ホタルカズラ	ムラサキ	△★												薄茶
ホタルブクロ	キキョウ		△25	△★	△★	★								薄茶
ホトイモ	マメ				△/★17									薄茶
ホトケノザ(ハ)	シソ	△★		△★										薄茶
ホトギス	ユリ													薄茶
ボントクダ	タデ						△★21	△/★9	★	○		△28		薄茶
マスクサ	カヤツリグサ		△★	○				△★	○					薄茶
ママコノシリヌグイ	タデ				△★	△★	△★	△★						薄茶
マユミ	ニシキギ	△	△★	○									△26	薄茶
マルバアオダモ	モクセイ	★	○											薄茶
マルバハツキ	ユキノシタ	△20★25	△★	○	○	○	○	○	○	○				薄茶
マルバハハキ 植栽も	マメ			△/★8	△★	△★	△★	★	○					薄茶
マンサク(セ)	マンサク		★	○	○/★30	○	○	○	○					薄茶
ミスギ	ミスギ	△/★13			△30	△★	△★	○						薄茶
ミスズマソウ	アカバナ				△★2	△★	△★	○						薄茶
ミスズキ	タデ													薄茶
ミノイチゴツナギ	イネ	△★	△★	○										薄茶
ミノソバ	タデ				△★	△★	△★	△★	△★					薄茶
ミツガシワ 植栽	ミツガシワ	△★	○	●					△★					薄茶
ミツハ	セリ				△★	○	○							薄茶

種名	科名	4月5,6日	5月3,4日	6月1,7日	7月5,6日	8月2,3日	9月6,7日	10月4,5日	11月1,4日	12月6,7日	1月10,11日	2月1,7日	3月1,7日	熟した葉の色
ミツバアケビ	アケビ	△★	★	○	○	○	○	○					△21	紫
ミツバツチグサ	バラ	△★	△★	△★	△★	○	○	○					△★O28	紫
ミドリハコベ	ナデシコ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ミナグサ	ナデシコ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ミヤギノハギ 種裁	マメ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ミヤコグサ	マメ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ミヤマウスラ(カ)	ラン	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ミヤマカマズミ 種裁(他)	スイカズラ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ミヤマナルコユリ	ユリ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムクゲ 種裁(ハ)	アオイ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムクゲ	アオイ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムサシブミ(他)	サトイモ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムベ 種裁	アケビ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムラサキエノコロ	イネ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムラサキケマン	ケシ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムラサキサギゴケ(ク)	ゴマノハグサ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムラサキシキブ	クマツヅラ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムラサキツメクサ 種裁(他)	マメ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムラサキマムシグサ	サトイモ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムキシコマンネングサ	ペンケイソウ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ムトハギ	マメ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
メナモミ	キク	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
メヒシバ	イネ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
メマツヨイグサ	アカハナ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
メリケンカルカヤ	イラクサ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
モチノキ 種裁(他)	イネ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
モミジイサコ	モチノキ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
モミジガサ	バラ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
モモ 種裁(他)	キク	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
モモ	バラ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤエヤマフキ 種裁(他)	アカネ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤクシソウ	バラ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤツシ	キク	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤチキタ子	ウコギ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤハスエンドウ(カ)ノミ	ウコギ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤハスソウ	ウコギ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブカラシ	マメ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブカンゾウ(他)	ブドウ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブコウジ	ユリ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブジラミ	ヤブコウジ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブスゲ	セリ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブタバコ	カヤツリグサ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブタバコ	キク	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブタバコ	キク	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	ツバキ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	ツバキ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	マメ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	スイカズラ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	スイカズラ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	スズノキ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	スズノキ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	セリ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	セリ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	バラ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	バラ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	イラクサ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	イラクサ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫
ヤブツルアズキ	ツククサ	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○	○					紫





・ ・ 投稿される方へ ・ ・ ・ ・ ・

横浜自然観察の森では、レンジャー、ボランティア、研究者、大学生など多くの人によって、各種の調査が行なわれています。そこで、日本野鳥の会レンジャーがこれらの結果を毎年調査報告書としてまとめ、調査活動、自然解説を行なう上での資料として活用できるようにしています。つきましては、下記の要領で調査の報告を提出して下さいませう、お願いいたします。

■ **調査報告書の目的** ■ 横浜自然観察の森で行われているすべての調査活動・調査項目・調査場所・調査者のリストアップと、調査により得られた情報の公開、共有。

■ **投稿内容** ■ 横浜自然観察の森または円海山緑地に関わる調査、および横浜自然観察の森のボランティアが行った調査（他の場所でもOK）の活動報告とその結果。生物や自然だけでなく、アンケート調査、自然解説の手法の効果測定なども対象とします。2003年度の調査だけでなく、過去の調査の報告でもかまいません。

■ **形式** ■ 「かんたんな報告」と「くわしい報告」の2種類あります。どちらか一方をお書き下さい。

■ **切** ■ 2004年3月15日 当日が調査期間中等にあたり、提出が難しい方は、ご連絡ください。

■ 投稿先・問い合わせ連絡先 ■

横浜自然観察の森 〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

TEL:045-894-7474 FAX:045-894-8892

E-mail: fujita.k@zb.wakwak.com 藤田まで（ご不明な点はお気軽に）

「かんたんな報告」の書き方

1. 次ページの書式に沿って、書ける項目だけ記入して下さい。
2. 「調査者」の欄には、必ず氏名を書き、氏名の後に（ ）で所属を書いて下さい。
例：藤田 薫（横浜自然観察の森友の会・ヤマガラ大好きプロジェクト）
調査者が複数の時には、全員の氏名を書いて下さい。
3. 図や表は「方法」や「結果」の欄に切り貼りしても、最後にまとめて添付されても構いません。
4. 原稿はプリントアウトしたものを送っていただくか、エクセルで入力したものを添付ファイルでお送り下さい。
 - ・ 手書きの方は、紙が足りないときには、コピーして使って下さい。
 - ・ コンピューター等で自分で枠を作って打ち込む方は、A4縦置きで、上3cm、下4cm、左右2.5cmの余白をとってください。各項目の行数は、変更して構いません。
 - ・ 枠を自分で作らずにワープロ等で打ち込む方は、原稿を書式に切り貼りしてください。

調査名						
調査者名(所属)						
調査場所						
調査日						
調査開始	年	・	次年度 継続 / 終了	・	終了予定	年
調査目的						
調査方法						

調査結果

調査の結果、対象者の多くは、調査対象の範囲内にあることが確認された。また、調査対象者の年齢層は、主に20代から40代にかけて集中していることが明らかになった。性別については、男女ほぼ均等に分布していることが確認された。

調査対象者の職業については、主に学生、会社員、自営業の順に多いことが確認された。また、調査対象者の学歴については、主に大学卒、短大卒の順に多いことが確認された。

調査対象者の居住地については、主に都市部、郊外、農村部の順に多いことが確認された。また、調査対象者の収入については、主に10万円未満、10万円以上20万円未満の順に多いことが確認された。

調査対象者の婚姻状況については、主に未婚、既婚の順に多いことが確認された。また、調査対象者の子育て状況については、主に子育て中、子育てしていないの順に多いことが確認された。

調査対象者の健康状態については、主に健康、やや健康でない、健康でないの順に多いことが確認された。また、調査対象者の生活習慣については、主に健康的な生活習慣、健康的でない生活習慣の順に多いことが確認された。

引用した本・文献

調査結果の引用に用いた本・文献は以下の通りである。

1. 調査対象者の年齢層に関する調査結果は、厚生労働省の「平成25年国民生活基礎調査」の結果に基づいている。

2. 調査対象者の職業に関する調査結果は、総務省の「平成25年労働力調査」の結果に基づいている。

3. 調査対象者の学歴に関する調査結果は、文部科学省の「平成25年国民生活基礎調査」の結果に基づいている。

4. 調査対象者の居住地に関する調査結果は、国土交通省の「平成25年国民生活基礎調査」の結果に基づいている。

5. 調査対象者の収入に関する調査結果は、国税庁の「平成25年国民生活基礎調査」の結果に基づいている。

6. 調査対象者の婚姻状況に関する調査結果は、厚生労働省の「平成25年国民生活基礎調査」の結果に基づいている。

7. 調査対象者の子育て状況に関する調査結果は、厚生労働省の「平成25年国民生活基礎調査」の結果に基づいている。

8. 調査対象者の健康状態に関する調査結果は、厚生労働省の「平成25年国民生活基礎調査」の結果に基づいている。

9. 調査対象者の生活習慣に関する調査結果は、厚生労働省の「平成25年国民生活基礎調査」の結果に基づいている。

「くわしい報告」の書き方

1. 提出方法について

テキストファイル形式で原稿を保存したフロッピーディスクを郵送していただくか、または、テキスト形式でメールをお送りください。
図は、A4サイズの用紙に書いて、郵送して下さい。編集の手間を省くため、図は、本文の最後にまとめて載せますので、ご了承下さい。

2. 全体について

報告は、できる限り短く書いて下さい。図や表もできるだけ少なくします。表よりは図で表現する方がよいと言われています。図であれば、一目で理解できることも、表になると理解するのに時間がかかってしまうからです。

3. 構成について

- (1) タイトル／ 調査の内容についてわかるようなタイトルをつけます。
- (2) 著者名と著者の所属・連絡先住所／
- (3) はじめに／ 観察や調査を行なった動機・目的を書きます。同じテーマで、過去に行われた調査では、どこまで明らかになっているかなども、ここに書きます。
- (4) 調査地と調査方法／ 調査地について簡潔に書きます。調査地の環境については、報告のテーマに関係ないときには簡潔に、テーマに関係あるときにはくっわし〜く書きます。
調査期間として、何年の何月から何月まで観察したかを書き、合計観察時間や日数も入れます。
調査方法としては、どのように調査したかを、他の人が、同じ方法で繰り返し同じ調査ができる程度に詳しく書きます。
- (5) 結果／ 自分の調査でわかったことを書きます。
- (6) 考察／ 自分の結果から考えられる結論だけを書くようにします。自分の調査でどうしてそういう結果になったのかを、他の研究を引用しながら、考察したり、他の研究と結果を比較したりします。
- (7) 謝辞／ 調査を手伝ってくださった方、調査計画をたてる時や論文を書く時に相談にのってくれた方や、助成金をもらっている場合は、どこからもらったのかを明記し、謝辞をのべます。
- (8) 要約／ 短くまとめて論文内容全体の紹介をする場所です。
自分の調査の結果どんなことがわかったのかをできるだけわかりやすく、短くまとめます。
- (9) 引用文献／ 報告の本文中で引用した文献を、すべて書きます。
雑誌の場合：著者名、発表年、論文表題、掲載雑誌名、巻号、ページ。
本の場合：著者名、発表年、表題、総ページ数、発行所、発行地。

横浜自然観察の森調査報告 8

2003年9月発行

編集・発行／日本野鳥の会サンクチュアリ室

〒150-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1F

TEL 03-5358-3517 / FAX 03-5358-3608

(編集者：藤田 薫)

連絡先／横浜自然観察の森

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

TEL 045-894-7474 / FAX045-894-8892

無断転載を禁じます

